



医療生協だより

まつしま

第147号 1月1日発行

■松島医療生活協同組合 組合員 6,389名 (2010年11月30日現在)

〒981-0213 松島町松島字普賢堂2-11 ■発行/生協だより編集委員会 ■印刷/松島(有)福田印刷
TEL.022-353-2696 ■ホームページ <http://www.mmcoop.or.jp/>

『8つの生活習慣を』

- 1) 適正な睡眠時間(7~8時間)をとる。
- 2) 過労を避け、十分な休養をとる。
- 3) 喫煙をしない。
- 4) 過度の飲酒をしない。
- 5) 適度な運動を定期的につづける。
- 6) 低塩分、低脂肪のバランスのよい食事をとる。
- 7) 間食せず、朝食をとる規則正しい食生活をする。
- 8) 一日1回以上よごれを落としきる歯みがきをする。

謹んで新春の およろこびを 申し上げます



理事長 大友 昌

新年あけまして
おめでとうございます

昨年、組合員交流集会、健康まつり、生協強化月間と組合員の元気を生み出す活動に大きな力を発揮していただき多くの成果を収めることができました。

今年、当生協にとって創立四十周年という節目の年を迎えます。私達は、四十

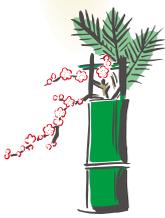
周年を合言葉に、それにふさわしい運動を作り上げていきたいと思えます。昨年からの検討している事業計画も是非「形」のあるものにすめたいと思えます。

また、私達の運動のスタートガンでもある、高齢者にやさしい町づくりも、支部を中心に地域の中で運動を現実化したいと考えています。私達をとりまく情勢は、期待されて実現した管内閣は、国民の期待を裏切り大きく支持率を下げ、内閣を維持することすら危ぶまれる状況になっていきます。

私達にとっては、高齢者

医療の改善、介護保険料の値上げなど次々と社会保障の後退の施策がうちだれてくる大変厳しい情勢になっていきます。こうした中で私達は、昨年スタートした新しい「医療福祉生協連」の設立の意義を深く理解し、実践していくことが今の情勢を切り開く最大の保障であると思っています。私達は、社会保障の後退をゆるさず、一層の充実を目指して、いのちと健康を守るために、組合員と一緒に心からお願いし年頭の挨拶にしたいと思います。

新年のご挨拶



専務理事 青井 克夫

あけまして
おめでとうございます。

二〇一一年は、松島医療生協の創立四十周年の節目の年にあたります。

一九七〇年十二月九日、ホテルニューパレスの一室で松島海岸診療所(内科診療週二日)が誕生し、翌年の一九七一年五月二十一日に松島医療生協が創立しま

した。

スタート時は組合員二百九十人、出資金四十三万円でしたが、現在は組合員六千四百人、出資金一億六千万円に達しています。地域での役割と、医療・介護事業で大きな存在になっていると自負しています。

四十周年記念事業計画はありませんが、「三十周年からの厳しかった十年間の歩み」のまとめと、診療所のリニューアルと「高齢者の住宅」建設の検討にチャレンジします。

私の初夢は、「五十周年は、松島を拠点にしながら

介護事業分野を強化し、宮城県内で医療福祉生協の大きな飛躍をしている未来図です。子供の時のように「大きくなったら何になりたい?」を、年を重ねても夢を持ち、実現に向けて努力していく自分であり続けたいと思っています。

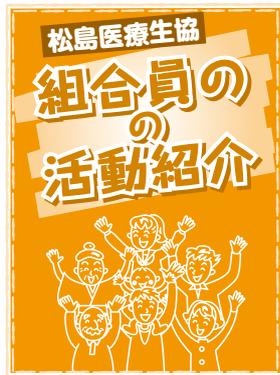
最悪な政治情勢と生活の厳しさは続きますが、医療福祉生協の「出会い・ふれあい・支え合い」をモットーに、組合員の皆様とスクラムを組み、「初夢」実現に向けて取り組む決意です。

謹賀新年
本年もよろしく
お願いします



理事長	大友 昌 (北部)	専務理事	青井 克夫 (職員)	常任理事	榎林 毅 (石巻)	桜井 昭 (二小)	檀崎 祐夫 (職員)	名雪 英三 (高城)	山本 幸子 (鳴瀬)	山本 幸子 (鳴瀬)	安部 悦子 (鳴瀬)	大類 幸雄 (大郷)	桜井 昌一 (北部)	佐田 紀元 (高城)	佐藤 清子 (石巻)	佐藤 良治 (職員)	品川 聖治 (磯崎)	高橋 静子 (職員)	高橋 康則 (職員)	中川 敬子 (海岸)	永沼 幸枝 (磯崎)	手代木せつ子 (鳴瀬)	長峰 千代 (海岸)	本館 榮子 (鷹台)	村上和久子 (海岸)	山崎 定子 (大郷)	蒲生 功 (高城)	佐藤 英夫 (二小)
-----	-----------	------	------------	------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------

2011年(第21回)
『組合員交流集会』
日時: 2011年
3月27日(日)
午前10時~午後2時
会場: 松島中央公民館



海岸支部

組合員 K・M

「元気で長生き」その秘訣は、いつも診療所の行事に参加させていただき、頭の体操・心の体操・楽しい思い出・悩みの語り合いを医療生協関係の人々と行なっていることを教えて頂き、組合員になって本当に良かったと思っています。

昨秋、海岸支部で行われた行事に参加した様子を記します。

◎ウォーキング（歩く）会
スライドで歩き方の学習をし、準備体操の後、海岸地区の紅葉を観賞しながら歩いて楽しいひとときでした。

◎移動班会

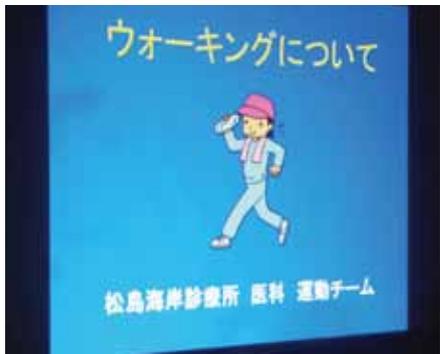
健康まつりのご苦労様会を兼ねて滝の温泉泉での移動班会では色々なお話をし、美味しい食事をいただき、温泉にゆったり浸かり心も体も和まされてきました。

◎その他の班会等

中川さん宅と水主町の天野さん宅では、薬剤師さんや看護師さんから薬やインフルエンザについて教えていただきました。特に天野さん宅の班会では、男性の方が多く参加されお茶を飲みながら色々な昔話をして盛り上がりました。

「男は他所にあまり出かけないし、お茶のみもないから、又、此処は喫煙もできるから気楽に集まらせて楽しい！」と言っていました。

その他診療所の業務内容についての話も聞き色々な事をしてるのだと驚きました。



高城支部

高まって来た支部活動

佐田 紀元

強化月間中に、組合員を新しく増やす運動、出資金を増やして貰う運動に取り組んで来ました。

それらに協力して下さいる組合員さんが段々増えて来て喜んでいきます。

毎月定期的に出資金の積み立てをして下さる組合員さんが増え、そして組合員増やしに職員の皆さんと共に行動して下さいる運営委員さんも増えてきて運営委員会としても「大変有難く・心強く」思っております。



これらは、毎月運営委員会を確実に開いて来たことや、お茶飲み班会で皆で親しみ合ってきたことが、段々に実って来たものだと思います。

又、移動班会として一泊旅行、日帰り旅行、生協だよりの仕分け作業や、手芸教室等、本部主催の行事に参加する組合員も増えて来た事で、活動が協力的に盛り上がりつつある理由になっているとも思います。

磯崎支部

品川 聖治

磯崎支部の組合員数は十一月末現在で六百六十二名で五百五十三世帯です。班

数は四十九、配布協力者も回数で、医療生協だよりの配布率はほぼ百パーセント達成しています。

支部全体としての活動は、先ず、健康まつり参加協力券を過去最高の数を販売し、また、模擬店では、栗ご飯の弁当が大好評でした。

支那レクリエーションとしての移動班会は、昨年と同じ滝の温泉で行い、参加者は二十四名でした。現地向かう途中宮床ダムの景観を眺め、南川ダム湖畔の花野果市場で新鮮な野菜を買いました。

滝の温泉では、強化月間の話と、スライドを使用したの認知症についての勉強を行いました。



ここで特筆されることは参加者からこのような機会に出資金増資したらとの意見が出されました。賛同してその場で増資してくれた方がおりました。

その後、食事・入浴・カラオケを楽しむ大変有意義な活動でした。

手樽支部

担当職員 佐藤 良治

三小支部から手樽支部に名称変更して二年が経過いたしました。

この間の取り組みとして、医療生協だより配布の組織編成を行い、配布協力者の選任に取り組み、手樽支部組合員全世帯への配布を実現させました。

又、組合員世帯地図を作成し、非組合員への訪問活動をを行い、微増ではありますが組合員増やしにも取り組んで来ました。



二〇一〇年度の健康まつりでは、職員を中心としたお茶とコーヒー販売の模擬店を出店しました。

今年、組合員参加による協同運営を目標として企画、活動を展開していきたく思います。

二小支部

あらためて知った松島の良さ

二小支部長 佐藤 広



二小支部では、支部内の組合員どうしの親睦を図る事を目的に、年二回の移動班会を行っています。

今年ではマイクロバスを借りての移動班会ということで行き先の制限がなかったのですが、最近運転してくれる方の手配がつかず、バスの送迎の所と行き先が限定されるようになってきました。

昨年の春には宮床の滝の温泉で親睦を図ってきましたが「さて秋はどこにしよう」と運営委員会で相談したところ、意外に自分たちの住んでいる松島町の名所旧跡を見たことがない人が多いという話があり「松島探訪」の企画が持ち上がりました。

秋といえば、まず考えられるのが紅葉の名所「扇谷」そして「円通院」、あたらしくリニューアルした富山観音、テレビコマーシャルでお馴染みの観覧亭と

松島巡りの案が浮かび、十一月下旬に実施しました。

参加者は二十一名、車三台に乗り合わせ、富山・扇谷の紅葉観賞、お昼は福浦橋前の「カフェ・ベイランド」で松島産の牡蠣づくしの豪華な食事、その後、円通院の素敵な庭と紅葉を觀賞、観覧亭では伊達家の歴史にふれた後、松島湾を眺めながらお茶を頂き「地元にながら初めて来た・初めて見た」という人が多く腹一杯・目いっぱい有意義な移動班会となりました。

今年の春には、初めての支部総会を開催する予定で今準備を進めており、医療生協二小支部として、今年も皆さんと一緒に生協運動を頑張っていきたいと思っています。

北部支部

新年にあたって

北部支部長 桜井 昌一

昨年は健康まつりや一泊旅行など、年間の行事を概ね成功させてきました。

今年も一月に新年会を開催し、元気に支部活動を行っていきたくと思います。やはり、皆さんと集まって対話し、いろいろな意見を話し合うことが支部活動を生かすことだと思います。

支部の新しい取り組みの課題としては、今、特に問題になっている高齢者の問題で、お年寄りの見回りや高齢者の食事を兼ねた集まりを計画していきたいと思えます。



太郷支部

山崎 定子

四年ぶりに泊まりの移動支部会を実施することが出来ました。

今年こそは泊まりの班会をしよう、海の方面か山の方面がいいかと旅館を探し、「温泉がいい」という一声で、鎌先温泉の最上屋旅館に決定。料金が手頃で、又、昔風の木造の建物で大切に保存されており、又、タペストリーがあちこちの窓に配置され、陶器や人形戸棚などで飾られ、落ち着いたたたずまいであった。旅館に早く着いたので夕食までお風呂に入りゆった

りと身体を休めることが出来ました。

夕食時には子どもたちの歌や踊りが飛び出し、元気をもらった夕食の席でした。その後お部屋で来年の健康まつり、班会の事など沢山の意見が出、又、一人ひとりの思いや性格にもふれあい、気がつくこと十一時を回っていました。

二日目は、晩秋の景色を見ながら山沿いを走り、川崎特産センターで休憩をとり、野菜や花などを買い帰りにつきました。今年一年の活動をふりかえる良い機会になりました。



石巻支部

「願いは強く 夢は大きく」

楳林 毅

石巻支部は診療所が遠いため、医療生協の理念は理解しても利用できないため、身近な医療生協でなく遠い医療生協になっているという悩みを持っています。

そこで、とにかく見える医療生協にしていきたいために「健康チェック」を中心にした活動を大事にしています。

今、定例化しているのは「コープのお家」の健康チェックと老人会とタイアップしている「砂押健康チェック」です。「コープのお家」での健康チェックでは毎月必ず参加する人の数が増え、「体脂肪の数値が先月より下がった」とか「今日は血圧が高いのは急いで来たからかなあ」と話題はつきません。組合員である元看護師さんや保健士さんが測定をしながら健康相談に乗ってくれるなど、充実した健康チェックになっています。

砂押での健康チェックは、毎月活動している老人会に参加して健康チェックしたことがきっかけとなって全員が組合員になってくれました。この前は大雨の中、早くから来て待ってくれるなどすっかり地域に定着したことにうれしさを感じます。「生協にじのまつり」や「民商まつり」では、もうすっかりお馴染みになりました。いろいろな会合にも、みんなが集まるまで健康チェックをして、健康の話や医療生協の話をする、その中で組合員になってもらうというケースも生まれてい

ます。「願いは強く、夢は大きく」持ちながら石巻にも見える医療生協を作っていきたいと思えます。



鳴瀬支部

「鳴瀬支部のこの一年」

手代木 せつ子

師走に入り時の流れがとて速く感じられます。そこで、四月からの班会を振り返ってみました。

七月二十四日、配布協力者の集い（赤井地区在住の本田さん夫妻の「ギターと歌のコンサート」）があり、その後、鳴瀬支部の総会を開催しました。

次に、十二月八日「骨密度測定班会」を実施しました。受診料は東松島市の「骨密度測定料金」より格安の五百円で受けることができました。最後に恒例の移動班会は三月十二日（土）に開催し

ますので、楽しみにしていただきます。本年もよろしくお願います。



組織委員会

一足お先に 新年の準備

青木 幹子

組織委員会では、大変好評な干支作りの手芸教室を準備・開催してきました。例年受講希望者が多く、今年も海岸・磯崎・高城の三ヶ所で行いました。どの会場も盛会で、参加された方に喜ばれました。これから取り組んでいきたいと思えます。



干支「宝うさぎ」を作って

海岸支部 千葉 富二子



十一月三十日（火）組織委員会主催の海岸地区「宝うさぎ」を作る手芸教室が垣ノ内集会所において十五名の参加で開かれました。先生はベテラン奥村さん、そして武田さん・青木さん、教えたり教えられたりと賑やかに頑張りました。今年で五回目ですが、新しい方四名の参加もあり、助けたり助けられたり、時間までに全員作品を完成させて記念写真をパチリ！その後、お茶を飲みながらのおしゃべり会では「初めての参加だけど楽しかった」もっと季節の物を作りたい「得意ではないけれど完成出来てうれしい」とか感想やら希望やらの声が聞けました。また、青木副理事長より診療所の現状、五ヶ年計画についてのお話なども聞く事が出来て、とても良かったと思えます。

教育委員会

第一回学習講座 「歌で綴る 日本の歴史」

佐田 紀元



去る十一月二十五日に、松島医療生協主催の第一回学習講座が、中央公民館で開催されました。松島医療生協・常任理事の名雪英三氏による「歌で綴る日本の歴史」と題しての講座は、歌あり、政治経済の歴史解説ありで、大変勉強になりました。歌を皆で歌う場面もあり、「歌は世につれ、世は歌につれ」の意味がとても良く解るお話でしたから、皆さん満足でした。今後、第二、第三、第四の学習講座が予定されています。各講座は、それぞれ専門委員会が担当して取り組みますので出席方宜しくお願います。



院所利用委員会

佐藤 美穂子

診療所をご利用の組合員の皆様からは、「虹の箱」を通じて貴重なご意見、ご要望などを頂き、組合員さんの診療所に対する思いが伝わり、院所利用委員会としても皆様のご期待に添えるようこれからも努力をしております。

前々から検討されていた、診療所出入り口の雨よけをどうするかについては、十二月中には、工事をすることになりました。



デザイナービスをご利用の方々には、雨の日など大変ご不便をおかけしました。

今後、このような施設の改善などお気づきの点がございましたら、「虹の箱」をご利用になるか、診療所スタッフにお申出ください。

お聞きした事は、院所利用委員会で取り上げ、組合員の皆様が診療所を快適にご利用頂けるよう、診療所づくりに努めていきたいと思っております。

保活委員会

いきいき元気に

「ころばん体操」

村上 和久子

保活委員会では十一月十七日に、なるせの郷の職員西塚美香さんの指導で、気楽に参加して楽しく出来る「ころばん体操」を行いました。



二分・三分と片足立ちが出来、握力テストは全員が初めてでしたが、とても良い成績でした。健康測定・握力テスト・片足立ちを行い、片足立ちでは、二分・三分と出来、握力テストでは全員が初めてでしたがとても良い成績でした。

松島歯科の専門医の紹介

宮城厚生協会所属 河内 満彦 (矯正歯科)



経歴

北海道函館市出身 一九八三年東北大学歯学部卒業。一九八七年同大学大学院歯学研究科博士課程を修了。その後、同学部・同附属病院にて助手、講師を務める。その間、アメリカ合衆国テ

キサス州ダラス市あるベイラー歯科大学矯正科の客員助教授として2年間留学。二〇〇三年から(財)宮城厚生協会に所属。

現在も東北大学歯学部附属臨床教授を務め、日本矯正歯科学会認定医・指導医の資格を有す。

Q1 松島診療に来て何年になりますか?

A 約六年です。

Q2 なぜ矯正専門医を目指そうと思ったのですか?

A 子供の頃、ひどい歯並びをしていた知り合いが、矯正治療を受けたところ綺麗になったことに衝撃を受けました。歯学部入学時には既に矯正学を専攻しようと考えていました。

た。大学卒業後に医局へ残り、資格取得のために矯正治療を改めて勉強し直す専門性や特殊性にも惹かれました。また、歯並びが整って矯正装置を外した時の患者さんの笑顔を見る度に、やりがいのある仕事だと実感させて頂いて嬉しいです。

Q3 アメリカでの経験についてお話を聞きたいです。

A アメリカが科学技術面で世界一の国であることは認めざるを得ない事実です。もちろん矯正分野でもアメリカで体系化され現在に至っています。

アメリカの大学で最前線の治療に触れることが出来たことは今でも色々な面で私に大きく役立っています。そして、日米両国の国籍とミドルネームを持つアメリカ産まれの子を授かったことも大きかったですね。

Q4 矯正治療で心掛けていることは何ですか?

A 米国では歯が綺麗に並びスペースがないとよく抜歯をすることがあるのですが、歯は一生で決まった数しか生えてこないし、抜いた歯は戻りません。大切な歯を出来るだけ抜歯しないで適切な咬み合わせや美しい側貌を

獲得出来ないかをまず考えます。そのための知識や経験が今に生かされていると思います。

Q5 今後の抱負は?

A 現在月二回診療に来ていますが、宮城厚生協会での診療や大学での臨床指導もあり回数を増やさないでいます。そこで今後診療所でも日常的に矯正治療が出来るよう、現在常勤の先生に対し矯正臨床に関する勉強会を開催しています。今後も松島海岸診療所の先生方と協力し、地域で質の高い医療を提供出来るように努力していきます。宜しくお願い致します。

松島海岸診療所 診療案内

●内科 ☎(022)354-3702

月	午前		午後	
	7:30	8:30	12:30	15:00
月	山崎		山崎	
火	山崎・吉田(内視鏡)		休診	
水	山崎		村口・山崎(往診)	
木	山崎		山崎	
金	山崎		山崎	
土	山崎・溝口で交替			

※受付は診療時間終了30分前までをお願いします。
※木曜日の7:30からの診察は予約制です。

●歯科(予約制) ☎(022)353-2717

月	午前		午後・夜間	
	8:45	12:00	14:00	17:00
月	診療		診療	
火		診療		
水	診療		診療	
木		診療		
金		診療		
土	診療		診療	

※急患受付は診療時間終了30分前までをお願いします。
各担当歯科医師の診療日は不規則ですので受付までお問合せ下さい。
歯科医師(常勤)久中・町田理恵・町田実恵(嘱託)井上
(非常勤)岩松・遠藤・佐藤
(矯正担当非常勤)河内

●訪問看護ステーション「まつしま」

月～金	9:00～17:00
土	9:00～12:00

●デイケア(おたっしやデイ)

月～金	9:15～16:15
-----	------------

●デイサービスなるせの郷(ひなたぼっこ)

月～土	9:15～16:15
-----	------------

●介護相談センター

月～土	9:00～17:00
-----	------------

各事業所等の連絡先

- 松島海岸診療所(内科) ☎022-354-3702
- 松島海岸診療所(歯科) ☎022-353-2717
- 介護相談センター ☎0225-86-2235
- 訪問看護ステーション「まつしま」 ☎022-353-3295
- なるせの郷(ひなたぼっこ) ☎0225-88-3836

- デイケア(おたっしやデイ) ☎022-354-3702
- まつしまくらしの助け合いの会 ☎022-353-3309
- なるせくらしの助け合いの会 ☎0225-88-3836
- 松島医療生協(事務局) ☎022-353-2696
- 組合員活動部(組織部) ☎022-353-3309